



令和4年5月12日(木)～令和4年6月9日(木) (計5日間7.5時間)

〈講座概要〉

「雪かき」は何のためにしますか？それは、生活の厄介者である「雪」をどかして元の生活に戻すためです。マイナスからゼロの状態になるだけで、決してプラスにはなりません。

一方、人口減少が富山県よりも深刻な全国の雪国においては、この「雪かき」を活用しながら、地域づくりの視点からプラスの状態を目指す取り組みが動き出しています。そのキーワードは「共助除雪」です。

本講座は、今後、富山県でも必要性が高まる可能性のある「共助除雪」について考えます。

◆募集定員	100名
◆受講対象者	大学生 ・ 一般
◆実施場所	オンライン
◆受講料	6,300円
◆その他	
◆申込期限	令和4年4月28日(木)

◆講座内容

回数	期日	時間	題目	講師氏名	所属・職名
1	5月12日(木)	18:30～20:00	豪雪地帯対策の変遷と雪処理の担い手不足	塩見一三男	地域連携推進機構・講師
2	5月19日(木)		(事例研究) 地区内の除雪組織づくり		
3	5月26日(木)		(事例研究) 地区外との除雪交流		
4	6月2日(木)		(事例研究) 広域からの担い手受け入れ		
5	6月9日(木)		国が進める共助除雪体制づくりの政策		

〈備考〉

- ・県民カレッジ単位…5単位
- ・Zoomを使用します。

★講座のキーワード★

共助除雪、除雪ボランティア、地域づくり

★身につくスキル・目標★

共助除雪には様々なタイプがあること、そして、雪問題解消と地域活性化に繋がる取組であることを理解いただく

★講師からの一言★

自治会での除雪活動や、除雪を通じた交流に興味のある方は是非受講下さい。